



東京都立江東特別支援学校

学校だより

令和3年度第6号 令和3年9月1日発行

校長 小原由嗣

9月に入り新学期が始まりました。今年の夏休みも、昨年に引き続き外出したり、旅行したりすることが難しく、我慢することが多かったと思います。どのように過ごしましたか。オリンピック、パラリンピックの選手たちの活躍をテレビで見て楽しめたでしょうか。

パラリンピックの開会式では、WE HAVE WINGS (私には翼がある)・「多様性と調和」をテーマにパフォーマンスが繰り広げられました。共生社会を目指すスポーツの祭典ならではの演出に心打たれました。天皇陛下のお言葉に「お互いを尊重し思いやることをこれまで以上に大切に」とあったことは、とても心に響くメッセージだと思います。自分と違う相手を認めることの大切さ、自分の存在を相手に認めてもらう大切さ、これらは、人間の尊厳にかかわることです。選手の傍らには必ず誰かがいます。その支えている人もまた、選手から何かを受け取っていることと思います。コロナ禍の、厳しい社会情勢の中で、お互いを尊重し合える学校生活を目指していきたいと改めて実感しました。

しかし、マチコミでもお知らせしたとおり、学校連携観戦は中止といたしました。感染が拡大し、医療機関のひっ迫状態から、万一の場合の救急搬送等について不安があることを受けての判断です。選手の活躍を間近で体感できるまたとない機会を無くすことは大変残念です。9月2日には、代替にオリンピック・パラリンピックの学習を行います。また、部活動や放課後の生徒会活動についても緊急事態宣言が発令されている間は実施を見合わせます。いずれも、通常の教育活動の維持を最優先にするという教育委員会の方針を受けての対応です。本校は、行事等の延期、変更はいたしますが、基本的な登校時間、下校時間の変更は行いません。感染対策を徹底し、生活のリズムを保って通常の教育活動を行うことが生徒の皆さんの心身の安定につながると考えるからです。

さらに、感染の拡大により、保健所の対応についても変化があり、濃厚接触者の判定に非常に時間がかかることが懸念されています。そのため、教育委員会から学校で一旦、濃厚接触候補者を特定し2週間の自宅待機を求めることが指示されました。校内での感染を食い止めるために、御協力をお願いいたします。新型コロナウイルス感染症対策について詳細は、プリントを配布いたしますのでそちらを御確認ください。

2学期は実りの季節と言われ、様々な行事や教育活動が集中してとても充実する時期です。緊急事態宣言下で取り組むことが難しく、縮小を迫られる場面もあるかもしれません。特に3年生は、卒業後の進路を決めていく大切な現場実習があります。進路指導に関しては、安全・安心を最優先するとともに、将来の安定した生活の基盤を作るための教育活動を維持してまいります。

最後になりましたが、生徒の皆さんは、夏休みが終わり、心と体に不安を感じたら信用できる大人に相談しましょう。保護者の皆様には、お子様の様子に心配なことがあれば、すぐに学校まで御相談ください。

今学期も本校の教育活動に御理解・御協力いただきますようお願いいたします。